

～大きいだけじゃない!?「オオウバユリ」～

オオウバユリ
(ユリ科ウバユリ属)

北海道と本州（中部以北）に分布し、湿り気のある林などに生育しています。7月下旬頃から、黄緑色をおびた白色の花を10個ほどつけ、背丈は1mから、大きいものでは2mほどにもなります。



一生に一度だけ

オオウバユリは、一生に一度だけ花を咲かせて実をつけ、その一生を終える一回繁殖型の植物です。



もうひとつの術
 枯れた球根には、**娘鱗茎**と呼ばれる新しい栄養繁殖体がついており、そこから新しい葉を出して増えることもできると言われています。

春になると、**光沢のあるツヤツヤ**とした葉を出します。はじめの年は1枚葉で、1年ごとに葉の枚数を増やしながらか大きくなっていきます。

7年から10年ほどかけて、根に十分な栄養をたくわえると、ある年、株の中心から太い茎を伸ばします。



実は上向きにつき、1つの実には**約500個**の種子が入っています。

茎の先についた大きな花芽のなかには、複数の花のつぼみが入っています。少しずつ成長しながらほころんでいき、横向きの花が開きます。

